

「気仙沼保健所 感染症だより」は、感染症予防に関する情報提供を行うお便りです。

感染症×Topics

知っていますか？梅毒のこと

梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体により引き起こされる感染症で、主に性行為などの性的接触により、口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。

近年、日本では梅毒が急拡大しており、2022年以降は年間10,000例を超える報告がされています。梅毒を正しく知って、自分と大切な人の健康を守りましょう。



梅毒って何が怖いの？



出典:政府広報オンライン 梅毒患者が急増中!検査と治療であなた自身と大切な人、生まれてくる赤ちゃんを守ろう(令和8年8月20日閲覧)

梅毒は検査や治療が遅れたり、治療せずに放置したりすると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。また、梅毒にかかった妊婦から胎児に感染し、梅毒にかかった状態で生まれる先天梅毒となることがあります。



感染経路・症状

主に、粘膜や皮膚が、梅毒の病変部位と直接接触することで感染します。具体的には、性器と性器、性器と肛門、性器と口の接触等です。また、口に病変部がある場合には、唾液を介して感染する恐れがあります。病期によって、症状の出現する場所や内容が異なります。自覚症状がないまま、長期間梅毒に感染した状態の人もいます。治療を行わなかった場合の典型的な経過は以下のとおりです。

I 期顕症梅毒

【感染後数週間】

主に口の中、肛門、性器等にしこりや潰瘍、股の付け根の部分のリンパ節の腫れが出現する。

II 期顕症梅毒

【感染後数か月】

バラ疹と呼ばれる赤い発疹が、手のひら、足の裏、体幹部などに出現。

※症状は軽快しますが、梅毒が治ったわけではありません。

晩期顕性梅毒

【感染後数年】

ゴム腫と呼ばれる腫瘍が出現。大動脈瘤などが生じる心血管梅毒、進行麻痺、歩行障害を伴う脊髄ろうが見られることもある。

その他、感染が脳や脊髄に及んだ場合を神経梅毒と呼び、どの病期でも起こりうるとされています。

治療・予防と対策

治療はペニシリン系などの抗菌薬(飲み薬・点滴・筋肉注射)で治療します。医師が必要と認める期間、確実に内服することが重要です。

梅毒が完治しても、適切な対策が取られていなければ、再び梅毒にかかる可能性があります。

コンドームを適切に使用しましょう

粘膜や皮膚が梅毒の病変と直接接触しないように、性行為の際はコンドームを適切に使用しましょう。ただし、コンドームが覆わない部分から感染する可能性もあるため、コンドームで100%予防できると過信はしないようにしましょう。

保健所の検査を活用しましょう

気仙沼保健所では、月2回(火曜日)、性感染症の検査を実施しています。(検査項目:梅毒、HIV、クラミジア)原則、匿名・無料で検査が受けられます。事前予約が必要です。詳細は、気仙沼保健所のホームページもご参照ください。



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）って何？



メチシリン（※抗菌薬の一種）をはじめとした多くの薬剤に対し多剤耐性を示す黄色ブドウ球菌。

黄色ブドウ球菌は、健康な人の皮膚や鼻腔内にも存在する常在菌で、健康な人に対しては一般的に無害です。しかし、高齢者など抵抗力や体力が低下している人が感染すると、重症化するケースがあります。

感染経路：接触感染
飛沫感染

症状：皮膚の傷などに伴う化膿、毛ほう炎などの皮膚組織の炎症、肺炎、腹膜炎、敗血症、髄膜炎など、様々な症状を引き起こします。

教えて！星さん☆

気仙沼市立病院 感染管理認定看護師である星さんが、感染症対策について、皆さんの「どうしたらいいの？」にお答えします！

Q MRSAに感染した人がいた場合、家族や施設が気を付けることはありますか？

A 家庭では、患者からMRSAが検出されていても症状がない場合等は保菌とみなし、特別な対策は必要ありません。ただし、衣類等に痰、便、膿などの汚染がある場合は、汚れを取り除いてから除菌・洗濯を行うと良いです。（塩素系漂白後に洗濯、洗濯後に乾燥機やアイロンをかけるなど）汚染があるものを取り扱った後は、手洗いや手の消毒を忘れずに行いましょう。

施設や医療機関では家庭と違い、利用者や患者を感染・拡大させないように注意する必要があります。痰からMRSAが検出され咳などがある場合は、患者にマスクを着用してもらいます。痰や便、褥瘡のケアや処置の場合は、手袋やエプロン（ガウン）等を着用し、痰吸引や口腔ケア等の場合は、顔に汚染物が飛び散る可能性があるためマスクやゴーグル等を着用します。使用した防護具は使い回しせず、外したあとは必ず手指衛生を行います。部屋の掃除は通常の方法でよいですが、手が触れることの多い箇所については、アルコール含有のクロス等で一方向清拭をしましょう。

保菌とは、耐性菌が検出されても症状がない場合のことで、健康者でも約2%程度が保菌と言われていますが、日頃からの感染対策として、手指衛生などは忘れずに行いましょう。

9/24～9/30は

結核・呼吸器感染症 予防週間です

未来のために、いま知る・気づく・予防する



現状

- 日本では、今でも年間1万人以上が結核を発症しています。
- 気仙沼保健所管内では、年間10人前後の患者が発生しています。
- 昔の病気ではありません。
- 定期的に胸部レントゲン検査を受けて、発病しているかどうか調べましょう。
- 患者さんの約4割が、**80歳以上**です。
- 20歳代の**約90%**が、外国生まれです。



どんな病気？

- 痰のからむ咳・微熱・だるさが2週間以上続きます。
- 体重減少、食欲低下、寝汗などが出現することがあります。
- 症状が分かりにくいことがあります。
- 過労や不規則な生活で免疫力が低下したとき、発病しやすくなります。
- 感染しても、発病するとは限りません。
- 発病して咳やくしゃみといっしょに菌が空気中に飛び散り、周りの人が吸い込むことで感染します。



治せるの？

- 複数の薬を6～9か月間、毎日きちんと飲めば治ります。
- 症状が無くなっても、途中で内服をやめてはいけません。やめてしまうと、菌が抵抗力をつけて、薬が効かなくなってしまいます。
- 確実に治療できるように、本人、家族や職場などの身近な人、医療機関や保健所が協力して服薬を見守ります。



結核になっても働けるの？

- 結核と診断されても、痰の中に菌が無く、周囲に感染を拡大するおそれが無い場合は、これまでどおり働くことができます。



気になる症状がある方は、早めに医療機関を受診しましょう。

9/15日（火）に

外国人労働者を雇用する事業所等を対象とする
結核対策研修会を開催します

日時

令和8年9月15日（火） 14:00～15:30

開催場所

宮城県気仙沼保健所（所在地：気仙沼市東新城3丁目3-3）
オンライン配信（Webex）でのハイブリッド開催

申込みはこちら

→ <https://logoform.jp/form/GQGB/1735969>

